

北陸ブロック母と女性教職員の会 開催!



8月22日・23日と「第61回北陸ブロック母と女性教職員の会」が新潟県越後湯沢町で開催されました。福井県からは女性部長をはじめとする女性教職員10名とお母さん方7名と退職女性教職員1名、本部2名で参加しました。

1日目は全体会で、「いま、いのちから・・・平和のためにひとりひとりができること」というテーマで、作家落合恵子さんの講演がありました。彼女の生い立ちや母親の介護を通して得た人生観にもとづいた、とても心揺さぶられる素敵なお話でした。「命の尊さ」や「生きることの素晴らしさ」を熱く語り、だからこそ平和の大切さ、今の政治の危うさを訴えていらっしゃいました。時に涙を浮かべ、時に言葉詰まらせながら語る彼女の真摯な

純粋な温かい思いが伝わってくる講演でした。「あなたの人生を生ききってください。」「あきらめずにもえつきなide。」の言葉が心に残りました。途中、「手話ができる人を。」という彼女の依頼に、越前支部の上坂朋子先生が手を上げられ、会場みんなが歌う中、素晴らしい手話を披露し会場を盛り上げました。講演が終わった後の本販売とサイン会には長蛇の列となり、落合恵子さんの魅力に引き込まれたことを表していました。



第3分科会



2日目は、「小学生」「中・高生」「学校・地域・家庭」「共生・共学」「子どもの食と健康」「男女の自立と平等」「平和・地球環境」の7つの分科会に分かれて実践発表や意見交換を行いました。福井県は、第3分科会と第7分科会で提案発表しました。第3分科会においては、越前市王子保小分会の上坂朋子先生が「花筐小学校『森のわくわく図書館』誕生物語」の実践を、第7分科会においては、勝山市成器西小分会の油谷圭子先生が「自然だいすき! かっちゃんまっ子」の実践を発表されました。上坂先生は、花筐小学校での学校図書館のリニューアル、読み聞かせ、調べ学習の寄り添い隊と、保護者と連携した様々なとりくみを紹介されました。油谷先生は、勝山市の各小学校の地域の自然環境を生かしたとりくみを紹介されました。どちらも地域と学校がより良い形で連携している実践内容で、参加者からも好評を得ていました。



第7分科会



コーディネーターとして丹生支部の眞田先生、鯖江支部の小柳先生に、記録として越前支部の玉木先生、勝山支部の西川先生にもご協力いただきました。